

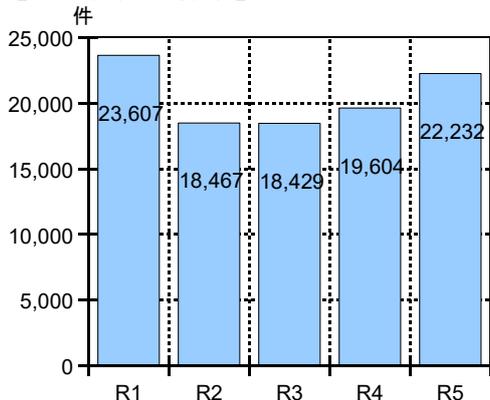
# 第2 北海道の治安実態

## 1 刑法犯の推移

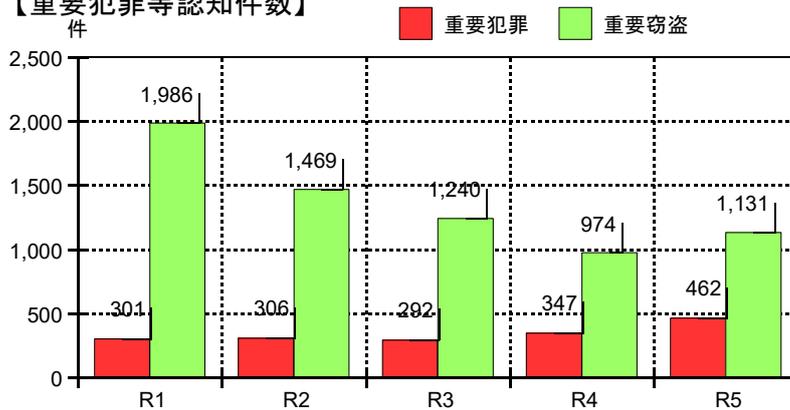
令和5年中、道内で認知した刑法犯は2万2,232件で、前年に比べて2,628件（13.4%）増加しました。

重要犯罪の認知件数は462件で、前年に比べて115件（33.1%）増加、重要窃盗犯の認知件数は1,131件で、前年に比べて157件（16.1%）増加しました。

【刑法犯認知件数】



【重要犯罪等認知件数】



- ※ 重要犯罪 ～ 殺人、強盗、不同意性交等、不同意わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買
- ※ 重要窃盗犯 ～ 侵入窃盗、自動車盗、すり、ひったくり

## 2 交通事故の実態

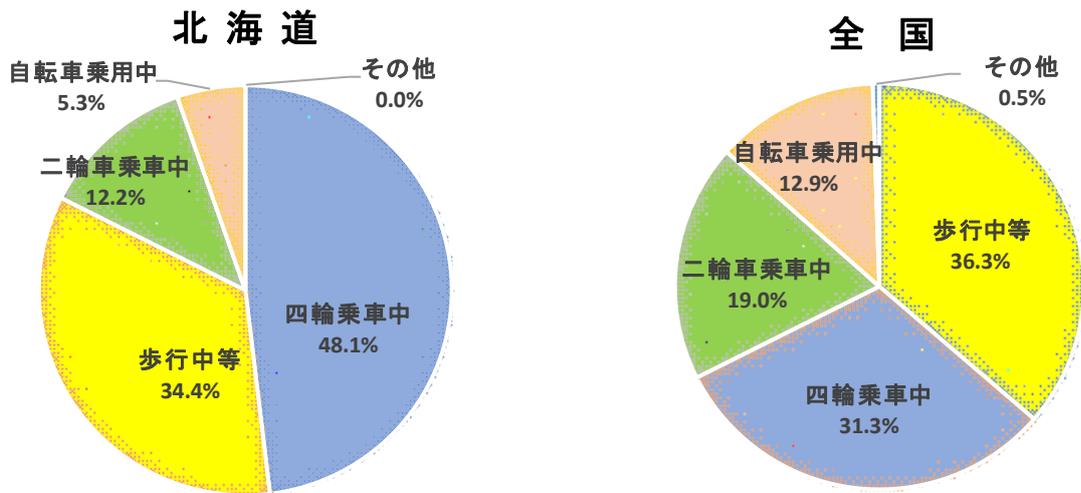
### 交通事故発生件数

令和5年中、道内で発生した人身交通事故は、前年に比べて625件増加して9,082件、死者は16人増加して131人でした。  
 (全国：人身交通事故30万7,930件 前年比+7,091件、死者2,678人 前年比+68人)

### 人身交通事故の多発時期

	北海道	全国
月	12月(10.3%)、11月(9.7%)	12月(9.8%)、11月(9.1%)
曜日	金曜日(15.9%)、月曜、火曜日(15.1%)	金曜日(16.2%)、火曜日(15.3%)
時間	16～18時(15.6%)、8～10時(15.3%)	16～18時(15.9%)、8～10時(14.6%)

## 交通事故死者の状態別の割合



## 人身交通事故の方面別発生状況

区分 方面	発生件数(件)			死者数(人)			傷者数(人)		
		前年比	増減率		前年比	増減率		前年比	増減率
全道	9,082	625	7.4%	131	16	13.9%	10,601	816	8.3%
札幌方面	6,679	336	5.3%	70	9	14.8%	7,779	466	6.4%
函館方面	561	-16	-2.8%	12	5	71.4%	670	-14	-2.0%
旭川方面	725	46	6.8%	17	-6	-26.1%	861	52	6.4%
釧路方面	873	221	33.9%	22	4	22.2%	994	263	36.0%
北見方面	244	38	18.4%	10	4	66.7%	297	49	19.8%

## 3 少年非行の実態

道内の非行少年は昭和58年を境に減少を続け、平成5年以降は5,000～6,000人台で推移し、平成27年には1,000人台まで減少しました。

令和5年の非行少年は1,375人で、前年に比べて321人(30.5%)増加し、そのうち刑法犯で検挙・補導した少年は1,162人で、前年に比べて283人(32.2%)増加しました。

20歳以上の者を含む全刑法犯検挙人員に占める犯罪少年の割合は9.5%で、全国の10.3%を下回りました。刑法犯で検挙した犯罪少年の人口比(同一年齢層の少年人口1,000人当たりの刑法犯で検挙した犯罪少年の比率)は3.3ポイントで、全国の2.9ポイントを上回りました。特別法犯で検挙・補導した少年は210人で、前年に比べて35人(20.0%)増加し、そのうち薬物事犯で検挙した少年は68人で、前年に比べて20人(41.7%)増加しました。

【非行少年の検挙・補導状況】

(人)

	総数	刑法犯			特別法犯			ぐ犯少年
		小計	犯罪少年	触法少年	小計	犯罪少年	触法少年	
元年	1,135	1,005	674	331	125	117	8	5
2年	967	815	544	271	149	133	16	3
3年	986	823	524	299	162	154	8	1
4年	1,054	879	588	291	175	168	7	0
5年	1,375	1,162	829	333	210	186	24	3

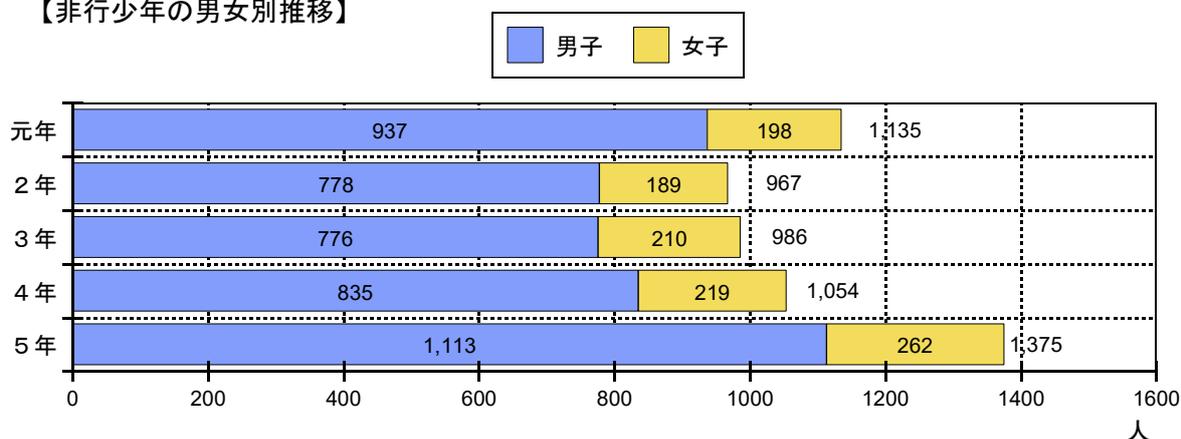
非行少年：犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年をいう。

犯罪少年：罪を犯した14歳以上20歳未満の者をいう。

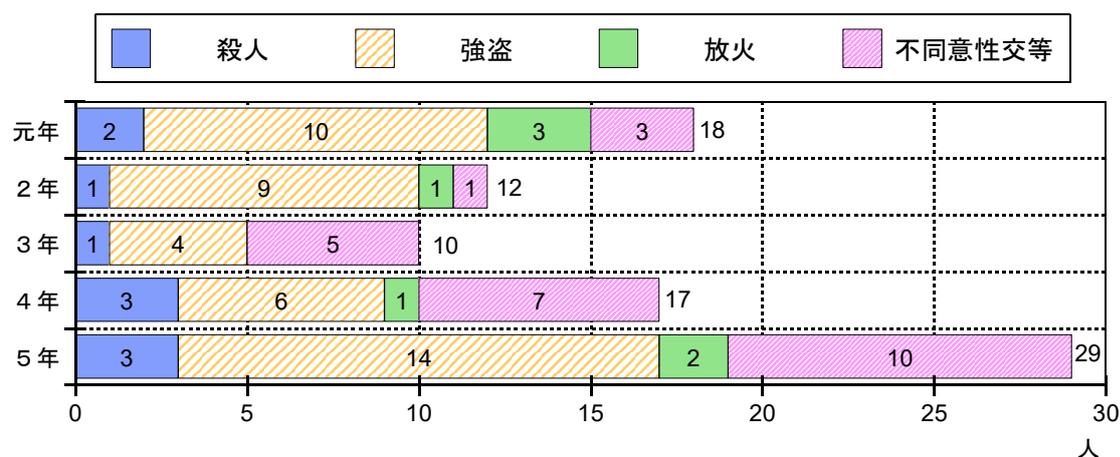
触法少年：刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の者をいう。

ぐ犯少年：保護者の正当な監督に服さない性癖があるなど、一定の事由があつて、その性格又は環境から判断して、将来、罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年をいう。

【非行少年の男女別推移】

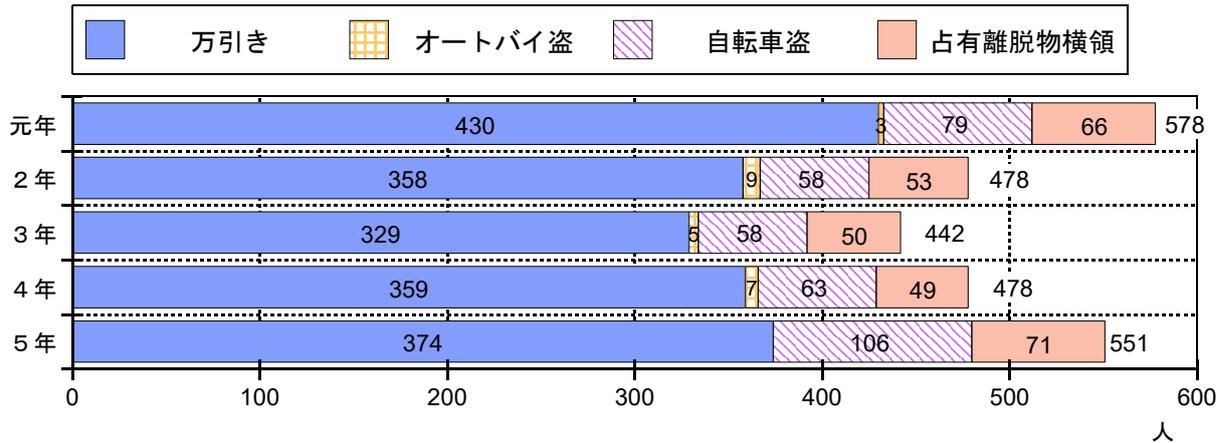


【凶悪犯の推移】



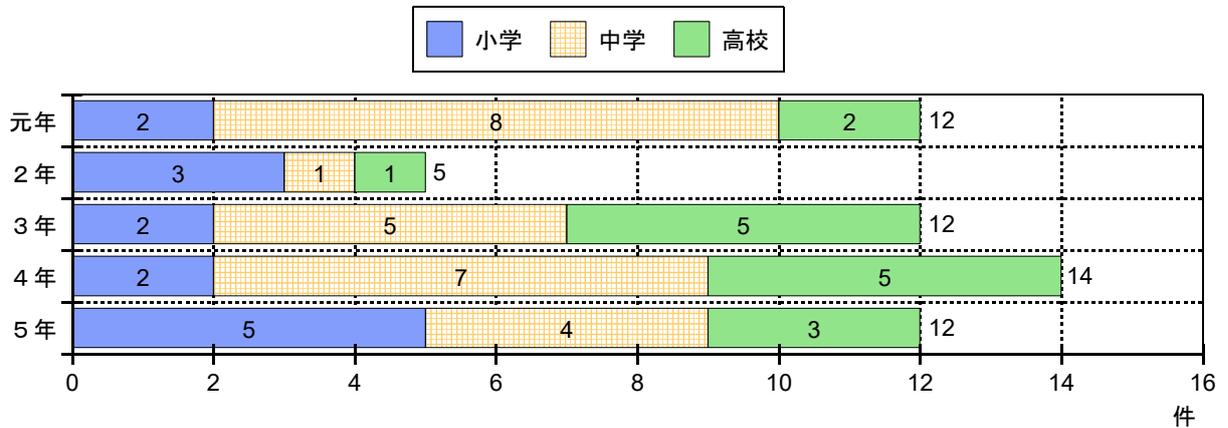
凶悪犯：殺人、強盗、放火及び不同意性交等（令和5年7月までは強制性交等）をいう。

【初発型非行の推移】



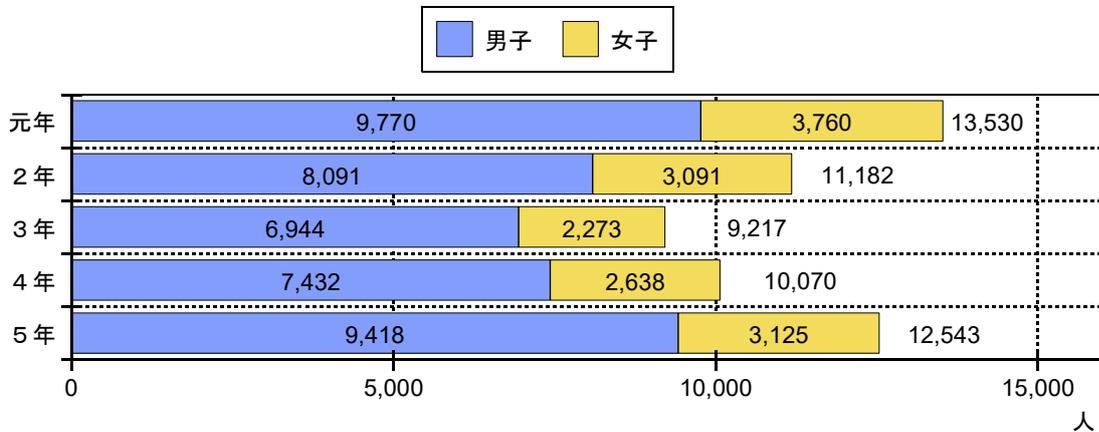
初発型非行：万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領をいう。

【校内暴力の検挙・補導件数の推移】



- 警察が取り扱った校内暴力事件は12件で、前年に比べて2件減少
- 小学校で5件、中学校で4件、高校で3件
- 教師に対する暴力が3件、生徒間暴力8件、施設損壊1件

【不良行為少年の推移】



- 飲酒、喫煙、深夜はいかい等により警察が補導した少年は12,543人で、前年に比べて2,473人増加
- 飲酒、喫煙、深夜はいかいが全体の82.6%